

入選

「親切」ってなんだろう

大分県 青山中学校 一年

山口 珠侑

「親切」ってなんだろう。私はこの作文をきっかけに、親切について深く考えてみた。

自分の思う親切は、人を思う心があること、困っている人をさりげなく助けることができる人だと思う。親切を辞典で調べてみると、『思いやりの心が深く、真心のあるようすのこと』と書いてあった。

思いやりの心とは、具体的にはどんなものだろうと考えてみると、今までにたくさん経験していることに気づいた。

コロナ禍で妹がコロナに感染し、家族全員が自宅から出られなくなったときには、近所の方々が「何か困っていることはないか？」と、温かい言葉をかけてくれたり、食材を差し入れしてくれたり、周りの人たちの優しさを感じることができた。また、同級生は学校に行くことのできない私に、毎日授業のプリントを家まで持ってきてくれた。

私は、中学生になるときに父の転勤で鹿児島県の奄美大島から、大分県の別府市に引っ越してきた。奄美大島での生活はとても楽しく、学校のクラスは少人数で家族のように仲が良かった。大好きな奄美大島を離れるのはとてもさびしく、不安な気持ちでいっぱいだったが、クラスの仲間が、「離れていてもずっと友達だから」「待っているから、いつでも帰ってこい」と、励ましてくれた。

引っ越しのときには、港まで見送りに来てくれて、船の中でおなかが空いたときに食べて、と私の好きなお菓子を差し入れしてくれた。

そのときのお菓子の味を、私は一生忘れないと思う。出発する船の甲板で友達が見えなくなるまで、「ありがとう」と言いながら手を振った。また、引っ越してきてからもパッションフルーツやドラゴンフルーツなど、奄美の美味しいものを送ってきてくれる。私たち家族も大分の美味しい食べ物を探しては奄美の人たちに送っている。

このことから、人に親切にされると、した人もされた人も幸せな気持ちになるし、親切のお返しを自然としたくなるものなのだ、と感じる。そして、私の身の周りには、思いやりの心を持った親切な人たちがこんなにもたくさんいたのだ、と改めて思った。

作文を書きながら、私の受けた親切はたくさん思い出すことができたが、私自身が胸をはって「親切をした」と言えるものは思いつかなかった。また、親切にはこちらが善意でやったことが、相手にはそうでなかったりするの難しいと思う。

本当に相手のことを思いやり、相手が必要としている「親切」を行うには、相手のことをよく知ること、相手の立場になって考えること、自分だったらどうして欲しいかなどを考えて行動することが必要だと思う。また、「親切」を行うには勇気のいる場面もたくさんあると思う。私はあの日こうすればよかった、と後悔をしないように自分の考えをしっかりと持ち、行動できる人間になりたいと思う。

「親切」には、たくさんのポジティブな力がある。世界中の人々が相手のことを思いやり、相手の立場になって考えることができれば、戦争や紛争がなくなり誰にとっても行きやすい世界になると思う。